

**記入例1 (親権者がどちらも日本国内に在住している場合)**

**D 収入状況届出書Ⅱ** 認定番号 - 013 - ※東京都使用欄 (記入不要です。)

就学支援金 (いずれか) **4月～6月もしくは7月～翌年6月のいずれか一つにチェックしてください。**  
 ※**新入生など1年分を申請する場合は、別紙の申請書Bは4月～6月にチェックを入れ、この申請書Dは7月～翌年6月にチェックを入れてください。**  
 ※**2箇所以上チェックが入っている場合は、書類不備となり審査できません。**

4月  
 7月

太郎 5月 1日

**【2. 保護者等の収入の状況について】**

申請又は届出時点における保護者等の状況及び添付する個人番号カードの写しを個人番号が記載された住所のいずれかの□にレ印を付ける

**例1) 両親ともに日本国内に在住している場合**  
 この場合は父と母の分のマイナンバーを提出してください。

**(1) 次の保護者等の個人番号の指定を受けていない場合**

①  **親権者(両親)2名** (生徒が在学中かつ、親権者が、一時印を付けてください)  
**【重要】** 生徒が、入学時点及び申請時点で、未成年か、成人しているか(18歳に到達しているか)によって、チェックをつける箇所が変わります。①と④の説明文をよく確認してください。

②  **ア 親権者の1人が、日本国内に住所を有しているが、個人番号の指定を受けていない場合**  
**【重要】** 親権者の1人が以下の時点で、日本国内に在住していないなど、国内で課税されていない場合は、(1)②アにチェックをつけてください。  
 ■支給時期区分が4月～6月の場合は、前年(2021年)の1月1日時点で、日本国内に在住していない場合  
 ■支給時期区分が7月～翌年6月の場合は、今年(2022年)の1月1日時点で、日本国内に在住していない場合

③  **未成年後見人** (未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分。ただし、未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合、その者を除きます。)

④  **生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)**  
 ・生徒が未成年で、入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合、  
 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合、  
 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合 等

⑤  **生徒本人** (親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合 等)

**(2) 次の理由により、個人番号カードの写し等を添付しません。**

⑥  **親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者の全員が、日本国内に住所を有している場合、個人番号の指定を受けていない場合**

**親権者1記入欄**  
 ※親権者が1名の場合は、こちらの枠内のみ記入してください。

**親権者2記入欄**  
 ※親権者が2名の場合は、こちらの枠内にも記入してください。

個人番号カードの氏名(ふりがな)	東京都 就次郎	親権者の氏名(ふりがな)	東京都 幸子
氏名	就次郎	氏名	幸子
生年月日	昭和50年 3月 17日	生年月日	昭和49年 4月 2日
住所	東京都 新宿区 〇〇町	住所	東京都 新宿区 〇〇町

上記保護者等のその年の1月1日現在(申請又は届出が行う月が1～6月の場合は、その前年の1月1日現在)の市区町村までの住所(日本国内に住所を有している場合は、□にレ印を付けてください。)

日本国内に住所を有している。  日本国内に住所を有していない。

**必ずチェックをお願いします。**

保護者の住民票が存在する住所を記入してください。  
 2年以内に引っ越し等で住民票を異動している場合は、以下を確認してください。  
 ■支給時期区分が4月～6月の場合は、前年(2021年)の1月1日時点の住所を記入する。  
 ■支給時期区分が7月～翌年6月の場合は、今年(2022年)の1月1日時点の住所を記入する。

就学支援金を授業料に充て、委任することを了す。

**記入例2 (親権者のどちらかまたはどちらかが海外に在住している場合)**

**D 収入状況届出書Ⅱ** 認定番号 - 013 - ※東京都使用欄 (記入不要です。)

就学支援金 (いずれか) **4月～6月もしくは7月～翌年6月のいずれか一つにチェックしてください。**  
 ※**新入生など1年分を申請する場合は、別紙の申請書Bは4月～6月にチェックを入れ、この申請書Dは7月～翌年6月にチェックを入れてください。**  
 ※**2箇所以上チェックが入っている場合は、書類不備となり審査できません。**

4月  
 7月

太郎 5月 1日

**【2. 保護者等の収入の状況について】**

申請又は届出時点における保護者等の状況及び添付する個人番号カードの写しを個人番号が記載された住所のいずれかの□にレ印を付ける

**例2) 父親が日本国内に在住しておらず、母親が日本国内に在住している場合**  
 この場合は母親の分のマイナンバーのみ提出してください。

**(1) 次の保護者等の個人番号の指定を受けていない場合**

①  **親権者(両親)2名** (生徒が在学中かつ、親権者が、一時印を付けてください)  
**【重要】** 生徒が、入学時点及び申請時点で、未成年か、成人しているか(18歳に到達しているか)によって、チェックをつける箇所が変わります。①と④の説明文をよく確認してください。

②  **ア 親権者の1人が、日本国内に住所を有しているが、個人番号の指定を受けていない場合**  
**【重要】** 親権者の1人が以下の時点で、日本国内に在住していないなど、国内で課税されていない場合は、(1)②アにチェックをつけてください。  
 ■支給時期区分が4月～6月の場合は、前年(2021年)の1月1日時点で、日本国内に在住していない場合  
 ■支給時期区分が7月～翌年6月の場合は、今年(2022年)の1月1日時点で、日本国内に在住していない場合

③  **未成年後見人** (未成年後見人が複数選任されている場合は、全員分。ただし、未成年後見人が、法人である場合又は財産に関する権限のみを行使すべきこととされている者である場合、その者を除きます。)

④  **生徒の生計をその収入により維持している者(主たる生計維持者)**  
 ・生徒が未成年だが、親権者又は未成年後見人が存在しない場合、  
 ・入学時点で生徒が成人であったが、主たる生計維持者が存在する場合、  
 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者が1人だった場合、  
 ・生徒が成人であり、未成年の時点で親権者又は未成年後見人が存在しなかった場合 等

⑤  **生徒本人** (親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合 等)

**(2) 次の理由により、個人番号カードの写し等を添付しません。**

⑥  **親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者の全員が、日本国内に住所を有している場合、個人番号の指定を受けていない場合**

**親権者1記入欄**  
 ※親権者が1名の場合は、こちらの枠内のみ記入してください。

**親権者2記入欄**  
 ※親権者が2名の場合は、こちらの枠内にも記入してください。

個人番号カードの氏名(ふりがな)	東京都 就次郎	親権者の氏名(ふりがな)	東京都 幸子
氏名	就次郎	氏名	幸子
生年月日	昭和50年 3月 17日	生年月日	昭和49年 4月 2日
住所	東京都 新宿区 〇〇町	住所	東京都 新宿区 〇〇町

上記保護者等のその年の1月1日現在(申請又は届出が行う月が1～6月の場合は、その前年の1月1日現在)の市区町村までの住所(日本国内に住所を有している場合は、□にレ印を付けてください。)

日本国内に住所を有している。  日本国内に住所を有していない。

**必ずチェックをお願いします。**

保護者の住民票が存在する住所を記入してください。  
 2年以内に引っ越し等で住民票を異動している場合は、以下を確認してください。  
 ■支給時期区分が4月～6月の場合は、前年(2021年)の1月1日時点の住所を記入する。  
 ■支給時期区分が7月～翌年6月の場合は、今年(2022年)の1月1日時点の住所を記入する。  
 ※日本国内に在住していない方は、住所欄は何も記入しないでください。

就学支援金を授業料に充て、委任することを了す。